

母さんへ

佐伯 美知（愛媛県松山市・六十歳）

母さん どこにおるん？ ねえ 何しよるん？ なんで 会いに来てくれんの？

母さん 母さんが病気で倒れたんは 私は18歳 弟らが15歳 12歳 やったなあ 夕食の後片付けして なんか頭痛い 言うて ホームコタツに横になった 脳梗塞 そして母さんは 言葉がでなくなった 右半身不随になった 悔しかったやろ それから 40年の在宅介護の始まり ただ 私は 母さんと一緒におりたかったんよ 母さんのおらん家なんか怖い よう 入らん ただ 母さんに おって欲しかった 母さん そんな私のわがままは 母さんに しんどい つらい思いさせた？ なあ 母さん？

母さんは 不自由な体になっても 動く方の足と手で ごそごそ ごそごそ 畳の上をいざって 窓のところで這うてきて 私らが見えなくなるまで 学校へ行く私らを 毎日夕見送ってくれたよな 少々 粗相してしても 大笑いして いつもいつも 笑顔やった そんなにガンバるとる母さん また 脳梗塞 再発 今度は 胃ろう そして 四肢麻痺 前よりも気の抜けない介護の始まり それでも 訪問診療 訪問看護 訪問入浴 どんな時も 笑顔 笑顔の母さんや った ご臨終です と 告げられた時も 母さん 母さん と 呼びかける私に 母さん 口を動かした ナニ？ 何？ なん？ お医者様は 「もう 心臓は止まっています」 と でも 母さん 私の名前を呼ぶかのように ありがとう 言いたいかのように さよなら 言いたいかのように 口を開けかけた まるで 私たちに 最後の笑顔のプレゼント？ なあ 母さん あれどしたん？

まだ 私らと一緒におりたかったん？ やけど 私のために 私に自由な時間をあげようと少し早めに 一緒におりたい思いを振り切って ひと足お先に旅立ったん？
どんなに大変でも 母さんの視線が私を追う 私の手の届くところに 母さんがおる それだけで良かった 動かない手で 指で 力なく それでも 私の手を 力を入れて 握ってくれたよな 母さん また 母さんの子供に生まれるよ また ぜったい 見つけてよ そう約束したよね 約束は 守ってよ 母さん 今度は 母さんと いっぱいお話したり 一緒にお買い物行ったり 一緒に旅行したりしたいよ

母さんが おらんなって もう4年 でも まだ なんも片付けられん 燃え尽き症候群やろって 言い訳ばかりしとる 母さんのもんだけやない 部屋の中も なんもかんも なんも片付かんまんま 掃除できん人になって もはや ゴミ屋敷 それでも 季節は 移り変わる 桜が咲く あの花明り見ると 母さんに会いたい思いがつのる ねえ もう 母さんの母さん 母さんのお兄さんもお姉さんも もう みんな そちらやね お花見しょん？ ねえ 会いたいよ お話したいよ かくさん